

## 県央経営者会の更なる発展の年

### ―平成二〇年を迎えて―

県央経営者会会長 大泉 政治



明けましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと思  
います。

さて、昨年は世界の経済が大揺れに揺れた年でありました。円高や原油高、アメリカのサブプライムローンの問題など、経営を進める上において大きな影響がありました。一方、県央経営者会は発足より3年目を向かえ、第二回目の公開例会（シンポジウム）を6月に開催し、いよいよ県央における会の知名度を高めることが出来ました。特にパネラーとして、河野太郎衆議院議員と亀井善太郎衆議院議員、小林常良厚木市長、長塚幾子伊勢原市長など県央地域の政治・行政をリードする方々にお集まりいただき、盛大な会を開催することが出来ました。これは、ひとえに会員の皆様の絶大なご努力とご協力の賜物であると感謝する次第です。

また、平成十九年度の総会では、会の健全な運営が評価され資金的にも若干の余裕ができました。そして、8月には県央経営者会のメインテーマである、「未来都市「県央」を育てる」ための骨格を成す構想を発表することが出来ました。それは、「県央・湘南アクアシティ構想」であり、相模川を軸とした壮大なまちづくりの構想です。これにさらに肉付けをしていき、2年後くらいをめどに都市設計コンペを開催したいと考えております。さて、これとは別に従来から進めてまいり

ました、県央における交通ネットワークの整備・向上を目指した活動として、一つの大きな成果を上げることが出来ました。それは、第一回の公開例会で小田急電鉄さんから示されました、ロマンスカーの地下鉄千代田線への乗り入れの件です。この計画については、当初より何度か小田急電鉄さんへ伺い、その内容についていろいろお願いしてきました。その結果、9月の新聞発表で相模大野から湯島方面行きとなっていたのを、本厚木発に変更するという成果を上げることができました。これによって、本厚木から都心の霞ヶ関や大手町に行くのに座ったままで、しかも乗り換えがないため相当な時間短縮が可能となったわけです。もちろんこの成果は、亀井衆議院議員や小林厚木市長を始め多くの方々のご支援の賜物とありがたく厚く御礼申し上げます。

以上のように、県央経営者会は県央の経済発展のため、会員の皆様とともに一歩一歩前進しております。これからも、この平成二〇年を更なる発展の年にとらえ、未来に向けて力強い飛躍の年としようではありませんか。会員の皆様の更なるご発展とご健康を願いつつ、本年初頭のご挨拶とさせていただきます。

# 県央経営者会の活動実る！

平成19年9月21日付けの新聞各紙において、小田急線ロマンスカーが東京メトロ千代田線に乗り入れるとの発表がありました。

当会ではかねてより県央地区の交通ネットワークの利便性を高める方策を提唱して

おり、平成18年4月に開催した第一回県央経営者会公開例会シンポジウム終了後、パネラーとして参加して頂いた小田急電鉄様より「相互乗り入れをすぐに実現するのは難しいが、ロマンスカーが千代田線に乗り入れる計画がある」とのお話を頂き、「それならば、是非、運行区間を県央地区まで検討してほしい」との申し入れを致しました。

これを機会に、何度か小田急電鉄を訪問し、ロマンスカーの乗入についてその時期や区間の質問をしてまいりました。

しかし、この新聞発表では運行区間が相模大野から湯島方面となっていたのです。この発表を見て、翌日には小田急電鉄(株)に連絡を取り、9月28日には大泉会長以下3名で小田急本社を訪問し、ぜひこの運行区間を県央まで延伸するようお願いしました。

そして、これらの努力が実り、10月19日の新聞発表では、運行区間が本厚木から北千住となっていたのです。このことは、県央経営者会が、県央地域の交通利便性の向上に大きく役立ったと評価したいと思います。

また、ここにご支援いただいた亀井善太郎衆議院議員、小林常良厚木市長と多くの会員のみなさまにお礼申し上げます。これからも県央地域の交通利便性の向上を目指して活動していきたいと思っております。

（以下省略）

平日はビジネス特急  
休日は箱根行楽向け



2008年3月15日から東京メトロ千代田線に乗り入れる小田急ロマンスカー・MSE

ロマンスカー、3月15日から千代田線へ

小田急電鉄は千代田線に乗り入れることになり、3月15日からロマンスカー・MSEの東京メトロ千代田線への直通運転を開始すると発表しました。平日は箱根地区から東京都心に通勤するビジネス向けに、休日は都内や埼玉方面から箱根地区の行楽向けに運行する。

平日のビジネス特急として、朝は上りが本厚木発北千住行きを一本、夕方下りが北千住発本厚木行きと大手町発本厚木行きを合わせて二本運行する。上りは本厚木を午前六時二十八分に出発、大手町を午前七時三十一分に到着する。下りは大手町を午後五時台に本厚木行きを一本、午後八時台に九時台に本厚木行きを運転する。

土休日は観光特急として北千住・箱根湯本間を

## 県央経営者会の活動実る

### 本厚木発ロマンスカーが地下鉄メトロへ乗り入れ



新型ロマンスカー MSE

小田急電鉄(株)と、東京地下鉄(株)では、特急ロマンスカーの東京メトロ千代田線への乗り入れについて合意し、その概要が10月19日に発表された。

それによると、当初の直通運転計画の内容が相模大野から湯島方面となっていたのが、本厚木から北千住間になったというもの。

本厚木発の特急は平日の朝が北千住行き一本、夜間の下り大手町発本厚木行きが二本出るようになる。

特急ロマンスカーの本厚木始発は、県央経営者会(会長・大泉政治/会員数178名)が昨年開いたシンポ

「往復、北千住・本厚木度、東京メトロ有楽町線・停車駅で購入が可能。開を一律復運行する。箱根湯本行きとし、県央地区、根湯本には午前十一時、湯島からベイエリアへの観光の利便性を図る。光の利便性を図る。乗車二カ月前の午前十時台に小田急線各駅、電

本厚木発着について  
は〇〇八年五月から〇九年三月までの第四土曜日に発着日曜日、五月三日から小田急線各駅と東京メトロ線のロマンスカー

また、ロマンスカー・MSEの車内に鉄道車両として初めてAED(自動体外式除動器)を搭載し、運行開始に合わせて話、パソコン、携帯電話利用を開始する。〇八年度中にはAEDを全ロマンスカーに導入の予定。(澤野井 隆)

ジウムの席で大泉会長の発言が発端となっていた。今回の発表は同会の結核の東京メトロ千代田線への乗り入れに際し、始発駅を県央地区に延伸するようかねてより小田急電鉄(株)へ働きかけてきていた。今回の発表は同会の結核の東京メトロ千代田線への乗り入れに際し、始発駅を県央地区に延伸するようかねてより小田急電鉄(株)へ

働きかけてきていた。今回の発表は同会の結核の東京メトロ千代田線への乗り入れに際し、始発駅を県央地区に延伸するようかねてより小田急電鉄(株)へ



(以下省略)

# 県央経営者会 第14回例会開催される

12月3日(月)に、県央経営者会の第14回例会が開催されました。今回の例会・懇親会(忘年会)の運営・進行は、伊勢原・秦野地区の担当で行われ、例会の司会は、伊勢原地区の秋山順三氏が勤め、飯田隆三氏により開会宣言がされました。続いて大泉政治会長より挨拶があり、この一年間の活動を総括した話しが述べられました。会長の挨拶に続き、亀井善太郎衆議院議員から「みんなで取り組む まちづくり」というテーマの講演があり、県央経営者会の活動の重要な柱であるまちづくりについて大変意義のあるお話をいただきました。



講演のあと、末澤広子副会長より県央経営者会の委員会組織の立ち上げについて報告があり、4委員会と2プロジェクトの概要が説明されました。これに続き各委員会の委員長がそれぞれの委員会の内容を説明され、会員の委員会への参加をお願いしました。

例会は、目黒 仁氏の閉会宣言により無事終了し、直ちに懇親会場へ移動して忘年会が盛大に行われました。忘年会の司会は、秦野地区の杉本秀夫氏が勤め、小林常良厚木市長と堀江則之県会議員の挨拶があり、大屋廣茂副会長による乾杯の音頭で懇親忘年会の幕が切って落とされました。

忘年会のメインイベントであり、会員の提供による豪華賞品が当たる福引大会の進行は、佐野英之氏と小泉順一氏によって行われました。最後の中締めは、今年秦野市議会議長に就任された福森 登氏にお願いし、長い・楽しい忘年会が終了しました。



総務委員長の金理事



司会は秋山理事



開会宣言は飯田理事



1年間の総括を述べた大泉会長



講師の亀井衆議院議員



閉会宣言は目黒理事



交通アクセス向上検討委員長の吉村理事



県央湘南アクアシティ構想リーダーの増田理事



親睦委員長の中村理事



会員増強プロジェクトリーダーの竹村理事

# 県中央経営者会第十四回例会 特別講演 「みんなで取り組むまちづくり」

講師 衆議院議員

亀井 善太郎氏



これからは民が主役にならなければならぬ。自分たちのまちは自分たちが作るという意識が大切である。まちづくりは一人でやってもだめ、みんなでワイワイガヤガヤと話し合って作ること。県中央経営者会が打ち出した「県中央・湘南アクアシティ構想」はみんなで知恵を出し合った結果だと思っ

これはみんなで繰り返し言うことが大切である。

組織全体も同じベクトルを向いていることが必要である。また、ホームランばかりを狙ってもだめで、みんなでヒットを作っていく。これならできそうだというものを作っていくこと。ある程度は成果を出さないと求心力が落ちる。

ここで大切なことは、考えることだけではだめで行動することである。やってみることで考えることをグルグル回していくこと、県中央経営者会のなかでこれからプロジェクトを立ち上げる時には、こういうやり方をぜひ使って進めてほしい。

## 2. まちづくりを考える上でのヒント

まちづくりは、トリの目で見るとかアリの目で見るとかということがあるが、大きな流れをつかむ上ではトリの目が必要。時代の変化を感じ取る。いまの時代はお年寄りの方が地方に残っていて、地方の力がなくなってきた。私はこれから人を再配分することが大切だと考えている。これからの時代は道州制になったとき、この地域がどのような地域になるかを考えなければならぬ。九州や四国が一つの州として蘇るきっかけになるはずだし、新しい日本の歴史を作ることが出来ると思っっている。県央は圏央道の西の入り口と

なるし、いわば圏央道はメインストリートになる。また、自然を大切にしたらまちづくりは当然の話で、特にこの地域の自然を活かしたまちづくりは、どういふふう自然と共生していくかを考えることが大切である。そして、やはり大事なのはトリの目ではなくアリの目で見ることであり、例えばお客さんが何を欲しているのかを考えるのはアリの目ということになる。またもう一つは、女性の目で見るとも大切である。

また、歴史は繰り返すというが、同じことをやりながら進化していくこと、古いけれど新しいカタチ、「古いものはよい」に一味付け加えること。映画「モダンタイムス」では人が歯車の一部となっていた。近代社会は、かけがえのない人を作ってしまったが、新しい時代は、かけがえのない人を作る社会にならなければいけない。それぞれの人々が社会に役立つことを、人と人が手をつないでやっていくことが大切だと思う。県中央経営者会はそのような会だと思っっています。この地域をみんなでもっと良くして行くにはありませんか。

亀井善太郎衆議院議員は政治家になる前に銀行員として、またコンサルタント会社の社員として活躍されていました。そのため講演の内容が非常に説得力のあるもので、県中央経営者会の会員にとって大変参考になる内容でした。以下に、その概要を記させていただきます。

1. みんなで取り組むことの大切さ、難しさ  
これまでは官が国を作り歴史を作ってきたが、



プロフィール

亀井 善太郎 (かめい ぜんたろう)

昭和46年1月 伊勢原市生まれ  
平成5年 慶応義塾大学経済学部卒業  
同年 日本興業銀行入行(現みずほコーポレート銀行)  
平成11年 ポストン・コンサルティング・グループ入社  
平成17年 亀井善之衆議院議員秘書  
平成18年 衆議院議員初当選  
党役職: 青年局長、広報局長、  
神奈川県連常勤顧問ほか

## 懇親忘年会 一大福引大会開催

今年の忘年会は、昨年に引き続き会員各社の皆様にご提供いただいた品を賞品として、盛大に福引大会が行われました。中には3点も獲得した方がいて大いに盛り上がりました。



### 懇親忘年会福引賞品提供社名一覧

三井住友銀行法人営業部(西村 賢氏)・(株)国際ゴルフ計画(熊沢幸江氏)・(株)天幸総建(鈴木 忠氏)・(株)ニクス(坂本英夫氏)・(株)大和ケミカル(中村幹夫氏)・厚木ヤクルト販売(株)(高田喜八氏)・(有)かじや(小林伸吾氏)・(株)厚木地所(小笠原 隆氏)・吉川醸造(株)(吉川勝之氏)・神奈川ウチダシステム(西山 明氏)・(株)オーネックス(大屋廣茂氏)・(株)フィールドアップ(野上 元氏)・いちかわライスビジネス(株)(市川 稔氏)・(株)刃辺商店(刃辺博行氏)・(株)大東繊維(中野広子氏)・サンパートナーズオフィス(新川 勉氏)・(株)饒田(饒田俊明氏)・(株)海老名鋼材(横手久枝氏)・(株)アイワプランニング(増田健治氏)・(株)誠電社(竹村和子氏)・(株)スタジオ 246(北村正敏氏)・センチュリーハウジング(株)(飯田隆三氏)・(有)秋山自動車(秋山順造氏)・大山阿夫利神社(目黒 仁氏)・(株)山本ビル(杉本秀夫氏)・(株)厚木花環センター(土屋義行氏)・(株)アイワ(井寛明氏)・三菱東京UFJ銀行(川本 浩己氏)・(有)金井酒店(佐野英之氏)・(株)イカイ厚木(本田久米子氏)・(株)オーイズミ(大泉会長)

### 忘年例会に参加した新会員



石川 謙二氏



小林 伸吾氏



金 俸基氏



高澤 孝一氏

## 第三回懇親ゴルフ大会開催

懇親ゴルフ大会は、今年から忘年例会と別の日に開催することになり、11月5日に本厚木カンツリークラブにおいて40名の方の参加をいただき開催することが出来ました。コースのご紹介者は、(株)武相の吉村保典氏でした。

記録のうちドラコン賞、ニヤピン賞などの受賞者が不明です。お手数ですが、受賞者は事務局までお知らせ下さい。

- 日 時 平成 19 年 11 月 5 日(月)
- コース 本厚木カンツリークラブ
- 参加者 40 名



### 県央経営者会第三回懇親ゴルフ大会上位成績

順位	会社名	氏名	グロス	HD	NET
優勝	(株)朝倉自動車	朝倉 弘一	90	18	72
準優勝		守屋 孝則	86	13.2	72.8
3	(株)武相	吉村 保典	90	16.8	73.2
4	(株)厚木地所	小笠原 隆	94	20.4	73.6
5	サンインテルネット(株)	三田 佳美	100	26.4	73.6
6	(株)大和ケミカル	中村 幹夫	98	24	74
7	(株)オーネックス	大屋 廣茂	91	16.8	74.2
8	コペル電子(株)	前角 典男	103	28.8	74.2
9		和田 稔	102	27.6	74.4
10	(有)三笠工業社	井上 康男	95	20.4	74.6

掲示板

# 会社紹介

弊社では不動産業、建築設計事務所、建設業を三位一体で取り組み、土地売買から、注文住宅の新築・建替え、メンテナンス、リフォーム、また店舗・工場の内装・原状回復など、住まいのスペシャリストとして「あなたの期待を越える家づくり」を実践しています。



**OIZUMI** 株式会社 **オーイズミ都市開発**

常務取締役 高橋 勝宏

本社 座間市入谷 1-1538-11  
 モデルハウス 大和町下鶴間 1763-5  
 TEL 046-258-3111 FAX 046-258-3110  
 URL: <http://www.oizumi-t.com>  
 E-mail: [oizumi-t@ar.wakwak.com](mailto:oizumi-t@ar.wakwak.com)



## 人を大切にする 企業です



人材派遣

株式会社 **イカイ厚木**

専務取締役 本田 久米子

- 本社  
〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-22-23  
TEL. 045-229-6871 FAX. 046-229-6873
- 相模原事業所  
〒229-1133 神奈川県相模原市南橋本 1-7-14  
TEL / FAX. 046-700-1367

## 横・箱ロマンスカー推進 プロジェクト活動報告

県央の交通ネットワーク向上のため、標記のプロジェクト活動を行ってきましたが、行政への働きかけを次のように実施しました。まず厚木市役所を10月5日に訪問し、続いて神奈川県庁を10月19日訪問、そして、12月6日に伊勢原市と秦野市を訪問し、この研究会に参加いただけるようお願いしてきました。



県庁の県土整備部を訪問



厚木市広域政策課を訪問



伊勢原市 都市部を訪問



秦野市長を訪問



秦野市議会議長室を訪問

県央経営者会事務局 福島 梧郎 宛  
 〒243-0017 厚木市栄町 1-16-15  
 厚木商工会議所 403号  
 電話 046-296-7010  
 fax 046-206-9110  
 メール [kenou-k@tanzawa.or.jp](mailto:kenou-k@tanzawa.or.jp)

昨年初めて会員名簿を作りましたが、未だ顔写真を載せていない方が多く、名前と顔が一致しないというクレームがありましたので、今回は全員の顔写真を載せたいと思います。郵送でもメールでも結構ですのでぜひ顔写真を事務局までお送り下さい。

会員名簿作成のお知らせ

事務局便り